

表 6 乳児簡単分類と基本分類及び死因簡単分類との対照表
Table 6 The 54 rubrics list of causes of infant mortality for Japan

乳児死因 簡単分類 番 54 rubrics list code	死 因 Causes of death	国際基本分類番号 Detailed list of ICD-9 code	死因簡単分類番号 117 rubrics list code
1	細菌性赤痢及びアメーバ症	004, 006	3
2	腸炎及びその他の下痢性疾患	008~009	4
3	結核	010~018	5~6
4	ジフテリア	032	8
5	百日咳	033	9
6	破傷風（新生児破傷風を含む）	037, 771.3	12, 84
7	敗血症（新生児敗血症を含む）	038, 771.8A	13, 86
8	急性灰白髄炎	045	14
9	麻疹	055	16
10	日本脳炎	062.0	17
11	ウイルス肝炎	070	18~19
12	梅毒	090~097	22
13	その他の感染症及び寄生虫症	001~139の残り, 771.7	1~26の残り, 85
15~16	悪性新生物	140~208	28~37
15	白血病	204~208	36
16	その他	140~203	28~35, 37
17	良性及び性質不詳の新生物	210~239	38
18	栄養失調症	263.9A	40の一部
19	髄膜炎	320~322	43
20	脳性小児麻痺	343	44の一部
21	心疾患	393~398, 410~429	46, 51~52, 54~56
22	肺炎	480~486	63
23	インフルエンザ	487	64
24	気管支炎	466.0, 490~491	62, 66
25	腹腔ヘルニア及び腸閉塞	550~553, 560	71
26	胃炎、十二指腸炎及び慢性胃腸炎	535, 555~556, 558, 562	72
28~32	先天異常	740~759	81
28	神経系の先天異常	740~742	81の一部
29	心臓の先天異常	745~746	81の一部
30	その他の循環系の先天異常	747	81の一部
31	消化系の先天異常	749~751	81の一部
32	その他の先天異常	743~744, 748, 752~759	81の大部
33	母体の疾患による新生児の障害	760	87の一部
34	母体の妊娠異常による新生児の障害	761	87の一部
35	胎盤・臍帯及び卵膜の異常による新生児の障害	762	87の一部
36	その他の分娩の異常による新生児の障害	763	87の一部
38~39	出産時外傷	767	82の一部
38	脳及び脊髄の損傷	767.0, 767.4	82の一部
39	その他及び詳細不明の損傷	767.1~.3, 767.5~.9	82の一部
40	低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態	768~770	82の大部
41	詳細不明の未熟児	765	87の一部
42	同種免疫による新生児溶血性疾患	773	87の一部
43	その他の周産期黄疸	774	87の一部
44	新生児の出血	772.4~772.9	87の一部
45	新生児出血性疾患	776.0	87の一部
46	その他の新生児の異常（新生児破傷風、カンジダ感染及び敗血症を除く）	760~779の残り	87の大部
47	その他のすべての疾患	240~799の残り	上記以外の残り
48	損傷及び中毒	800~999	91~101
E51~E54	損傷及び中毒の外因	E800~E999	E104~E117
E51~E53	不慮の事故及び有害作用	E800~E949	E104~E114
E51	食物及びその他の物体による窒息	E911~E912	E111の一部
E52	不慮の機械的窒息	E913	E111の大部
E53	その他	E800~E910, E914~E949	E104~E110, E112~E114
E54	その他の外因	E950~E999	E115~E117

注：1）基本分類番号は、人口動態統計用の番号を示してある。
2）「E51~E54損傷及び中毒の外因」は、「48損傷及び中毒」を外因で分類したものである。
3）乳児簡単分類番号は通し番号になっており、欠番は小計をあらわしている。